

大阪府がん拠点病院 統一地域連携パス

『前立腺がん/前立腺全摘除術後経過観察』

がん医療における『医療連携』の役割

近年の統計によると、がんにかかる患者さんの数は年々増加しており、これからも増加し続けると考えられています。一方で、がんの診断や治療を行っている医療機関が限られており、がん患者さんが、がんを専門的に扱っている医療機関に集中してしまう傾向があります。

当院は、地域の中心となる病院として、患者さんへ専門的な診療の提供を行うように努めています。しかし、当院においても、患者さんの集中により、専門的な診療後の定期的な診療に十分な時間を取ることが難しくなっております。

そこで、『医療連携』の果たす役割が重要になります。『医療連携』とは、診断・治療・定期的な検査などの診療を、地域の複数の医療機関（病院や診療所）が役割分担し、連携協力して患者さんの診療に当たり、最適な医療を提供する体制です。

当院は、地域の基幹病院として、専門的な設備や医療者を備え、診断や手術、放射線療法、化学療法といった、専門性の高い診療を提供しています。専門的な診療後のケアについては、ご自宅近くの医療機関や、かかりつけ医が当院の医師と連携して診療を行う環境を構築しています。

当院による専門的な診療を受けられた皆様には、病状が安定した段階で、地域の医療機関を紹介させていただき、その後の定期的な検査や薬物治療を継続して受けていただく場合もあります。また、その場合でも、特殊な検査や専門的な治療が必要な際には、当院による診療も並行して受けていただきます。

患者さんのための医療連携

当院と連携して診療にあたる医療機関で診療を受けていただくことで、様々なメリットを提供します。

☆その時の病状に応じて、適切な設備や環境の整った医療機関で診療が受けられます。

☆ご自宅近くの医療機関を受診していただくことで、がん以外の疾患や、既にかかっている病気に対しても、身近に相談をすることができます。

☆かかりつけ医をお持ちの場合、かかりつけ医のもとで、がんの診療を継続するとも可能です。

安心してご利用いただくため地域医療機関と共に取り組んでいます

主治医に代わることを不安に思われるかもしれません。その不安を解消し、患者さんに安心して治療を受けていただくため、当院と連携して診療にあたる医療機関は、均質ながん医療を提供するための万全の体制を整えています。

☆がん医療の最新情報を共有し、検査や定期検診、薬物治療を正しく行うために必要な知識や技術を、定期的に当院と共に学んでいます。

☆患者さんの声を真摯に受け止め、定期的に地域の医療連携の取り組みを見直し、より最適な医療を提供できる体制を整えています。

☆当院と連携して診療に当たる医療機関は、患者さんの承諾のもと、診療情報を共有しており、専門的な診療が必要な際には、当院にてすぐに受診いただけます。

ほかにも、地域医療連携の取組みに関してご不明な点がございましたら、遠慮なく担当医や看護師にご相談ください。